

高齢者保健福祉計画・第8期川越市介護保険事業計画事業評価シート（指標）

基本理念:豊かな歴史・文化にはくまれながら、一人ひとりにふさわしく、いきいきと充実した生活を送れるまちの実現

基本方針:住み慣れた地域で 健康で 見守り・支え合うまちの実現をめざします。

所管課評価 評価基準		R3年度
A	順調（年度目標の90%以上）	21
B	やや遅れている（年度目標の60%以上）	3
C	遅れている（年度目標の60%未満）	10
D	当該年度予定なし	0
E	事業終了	0
-	災害等により未実施だったもの	0

資料 2-3
令和4年（2022年）9月26日
第5回川越市介護保険事業計画等審議会

no	第8期計画の施策の柱	項目	担当課	策定時目標		実績値				令和3年度実績に対する		令和4年度 取組内容（予定）
				現状 （令和元年度）	目標 （令和5年度）	第7期計画 令和2年度	第8期計画			所管課 評価	評価理由	
1	生涯にわたる健康づくりと高齢者の社会参加の促進	介護予防の自主グループの数	地域包括ケア推進課	191団体	増加	191団体	186団体			C	新型コロナウイルス感染症の影響で、活動休止の自主グループが多く見られ、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で、十分な継続支援や再開支援を行うことができなかったため。	各圏域を担当する地域包括支援センターは、各自主グループの活動再開状況を把握しながら、専門職を派遣する出前講座等を活用し、継続支援や再開支援を行っていく。また、自主グループの企画運営を担当する介護予防サポーターに対しては、フォローアップ講座等を実施し、不安なく再開できるよう支援していく。
2		介護予防サポーター養成講座修了者延べ人数	地域包括ケア推進課	1,251人	1,700人	1251人	1333人			C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参加者数を制限しての開催となったため。	感染者数が減少しない中、昨年度以上の参加者数を確保するために、1会場あたりの参加者数を減らすことで感染リスクを軽減し、4会場 9会場へ拡大。感染症対策を徹底した上で、実施。
3		ときも運動教室参加者数	地域包括ケア推進課	365人	400人	0人	119人			C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度は休止していたが、令和3年度は7月から再開。開始時期が年度当初でなかったことと、感染拡大防止のため、参加者を制限しての開催となったため。	感染症対策を講じた上で開催となるため、参加者数の制限はあるものの、今年度は市内8事業所で4月から実施。昨年度は、感染拡大防止のため、プログラム時間は60分間に縮小したが、今年度は以前同様の90分間に戻し、実施する。
4		介護支援いきいきポイント事業登録者	高齢者いきがい課	517人	580人	508人	523人			A	登録者数が目標に達したため（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業の各種説明会や交流会は中止）。	感染症対策を徹底したうえで各種説明会を実施。登録者や受入施設を支援する。
5		ボランティア登録者数及び団体数	福祉推進課	636人 243団体	640人 250団体	323人 182団体	215人 148団体			C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、新規ボランティアの育成に繋がる各種講座が開催できず、個人ボランティア及びボランティア団体の登録が減少したため。新型コロナウイルス感染拡大を最小限に防ぎ、より参加しやすい講座を推進するため、オンライン等による各種講座を開催し、活動希望者の拡大に努めた。	新規ボランティアの育成に繋がる各種講座の開催や各ボランティアビューローでの活動相談や受付、派遣、調整を推進すると共に、新型コロナウイルスの影響により減少したボランティア活動者を拡大するため、地域に出向いての出前講座の開催や次世代の担い手を育成する福祉教育等の拡大に努める。また、ボランティアに関する情報提供を拡大するため、オンラインによる動画配信やDVD、SNSや社協ホームページ等を活用した情報提供等に努める。
6		65歳からの健康寿命 埼玉県算出に基づく	健康づくり支援課	男性 17.61年 女性 20.17年 （平成30年時点）	平均寿命の増加 分を上回る健康 寿命の増加	男性 17.67年 女性 20.32年 （R1年）	男性17.85年 女性20.48年 （R2年）			B	健康かわごえ推進プラン（第2次）に基づき、継続して市民の健康づくりに取り組んだことで、健康寿命は延びたと考えられるため。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため各種主催事業等を一部縮小や中止としたため、やや遅れているとした。	感染症対策を行ったうえで、各種関係団体等と健康づくりに係る協働事業に取り組むことや、広報、ホームページ、チラシの配布等の啓発活動を実施する。
7		通いの場に通う高齢者の割合	地域包括ケア推進課	5.1%	8.0%	4.4%	4.1%			C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、活動休止の自主グループが多く見られ、割合が減少したため。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見ながら、地域包括支援センターと共に、地域にある介護予防自主グループに対し、再開支援を行う。また、地域にある高齢者の通いの場を、生活支援コーディネーターにより把握していく。
8		要介護等認定率										
	65～74歳	介護保険課	4.2%	減少	4.3% (R2.10.1時点)	4.5% (R3.10.1時点)						
	75～84歳	介護保険課	17.4%	減少	17.4% (R2.10.1時点)	17.8% (R3.10.1時点)						
	85歳以上	介護保険課	58.4%	減少	58.0% (R2.10.1時点)	56.3% (R3.10.1時点)						

高齢者保健福祉計画・第8期川越市介護保険事業計画事業評価シート（指標）

基本理念:豊かな歴史・文化にはぐくまれながら、一人ひとりにふさわしく、いきいきと充実した生活を
送れるまちの実現

基本方針:住み慣れた地域で 健幸で 見守り・支え合うまちの実現をめざします。

所管課評価 評価基準		R3年度
A	順調（年度目標の90%以上）	21
B	やや遅れている（年度目標の60%以上）	3
C	遅れている（年度目標の60%未満）	10
D	当該年度予定なし	0
E	事業終了	0
-	災害等により未実施だったもの	0

資料 2-3

令和4年（2022年）9月26日
第5回川越市介護保険事業計画等審議会

no	第8期計画の施策の柱	項目	担当課	策定時目標		実績値				令和3年度実績に対する		令和4年度 取組内容（予定）
				現状 （令和元年度）	目標 （令和5年度）	第7期計画 令和2年度	第8期計画			所管課 評価	評価理由	
9		要介護2以下の認定者の要介護度の維持及び改善率	介護保険課	計画書 (P.55)参照	増加	-	-					
10		幸せだと感じている人の割合	地域包括ケア推進課	48.6%	増加	-	-					
11		転倒に対する不安を持つ高齢者の割合	地域包括ケア推進課	57.1%	減少	-	-					
12		外出を控える高齢者の割合	地域包括ケア推進課	26.5%	減少	-	-					
13		生きがいを感じる高齢者の割合	地域包括ケア推進課	78.6%	増加	-	-					

高齢者保健福祉計画・第8期川越市介護保険事業計画事業評価シート（指標）

基本理念:豊かな歴史・文化にはくまれながら、一人ひとりにふさわしく、いきいきと充実した生活を送れるまちの実現

基本方針:住み慣れた地域で 健康で 見守り・支え合うまちの実現をめざします。

所管課評価 評価基準		R3年度
A	順調（年度目標の90%以上）	21
B	やや遅れている（年度目標の60%以上）	3
C	遅れている（年度目標の60%未満）	10
D	当該年度予定なし	0
E	事業終了	0
-	災害等により未実施だったもの	0

資料 2-3
令和4年（2022年）9月26日
第5回川越市介護保険事業計画等審議会

no	第8期計画の施策の柱	項目	担当課	策定時目標		実績値				令和3年度実績に対する		令和4年度 取組内容（予定）	
				現状 （令和元年度）	目標 （令和5年度）	第7期計画 令和2年度	第8期計画			所管課 評価	評価理由		
14	認知症にやさしいまちづくりの推進	認知症サポーター養成講座受講者延べ人数	地域包括ケア推進課	24,263人	31,000人	24,988人	26,109人				C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、人が集まる場での講座の実施が難しかったため。一部、オンライン開催を試みるなど開催方法を工夫し、実施した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見ながら、オンラインでの開催など開催方法を工夫をし、今年度も幅広く開催できるよう地域や企業、小中高校当へ働きかけを行い、認知症サポーターを積極的に養成していく。
15		認知症サポーターステップアップ講座開催回数	地域包括ケア推進課	-	1回	-	0				C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、人が集まる場での講座の実施が難しかったため。開催には至らなかったが、次年度開催に向け、関係者間では話し合いを続けた。	認知症地域支援推進員会議にてステップアップ講座の開催方法を検討し、今年度は実施予定。
16		認知症予防教室参加者数	地域包括ケア推進課	654人	500人	78人	273人				C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、人が集まる場での講座の実施が難しかったため。	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら、開催に向け、地域包括支援センターから地域等へ働きかけを行い、実施していく。
17		オレンジカフェ開催回数	地域包括ケア推進課	366回	400回	0回	67回				C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、不特定多数が集まれる会場の確保が難しく、開催することが困難であったため。	新型コロナウイルス感染症が拡大する以前は、飲食を伴っていたが、今後は飲食を伴わない形式での開催について、再開に向け、開催方法等を地域包括支援センター等関係者と協議をし、準備を進める。
18		オレンジカフェ参加者数	地域包括ケア推進課	6,111人	3,200人	0人	412人				C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、不特定多数が集まれる会場の確保が難しく、開催することが困難であったため。	新型コロナウイルス感染症が拡大する以前は、飲食を伴っていたが、今後は飲食を伴わない形式での開催について、再開に向け、開催方法等を地域包括支援センター等関係者と協議をし、準備を進める。
19		お帰り安心ステッカー交付者実人数	地域包括ケア推進課	273人	470人	359人	456人				A	交付希望者の増加がみられたため。	お帰り安心ステッカー周知用ポスターを作成し、多くの市民が目にして周知できる場を、認知症地域支援推進員と共に検討し、地域で掲示していく。
20		地域包括支援センターの認知症に関する相談受理件数	地域包括ケア推進課	4,906件	増加	9,347件	13095件				A	認知症に対する相談件数が、急増しているため。	認知症ガイドブックの配布等により、認知症の相談窓口があることを周知する。
21		認知症に関する相談窓口の認知度	地域包括ケア推進課	28.0%	増加	-	-						

高齢者保健福祉計画・第8期川越市介護保険事業計画事業評価シート（指標）

基本理念:豊かな歴史・文化にはくまれながら、一人ひとりにふさわしく、いきいきと充実した生活を
送れるまちの実現

基本方針:住み慣れた地域で 健幸で 見守り・支え合うまちの実現をめざします。

所管課評価 評価基準		R3年度
A	順調（年度目標の90%以上）	21
B	やや遅れている（年度目標の60%以上）	3
C	遅れている（年度目標の60%未満）	10
D	当該年度予定なし	0
E	事業終了	0
-	災害等により未実施だったもの	0

資料 2-3

令和4年（2022年）9月26日
第5回川越市介護保険事業計画等審議会

no	第8期計画の施策の柱	項目	担当課	策定時目標		実績値				令和3年度実績に対する		令和4年度 取組内容（予定）
				現状 （令和元年度）	目標 （令和5年度）	第7期計画 令和2年度	第8期計画			所管課 評価	評価理由	
22		認知症に対する正しい理解をしている人の割合										
		誰もがなりうる可能性があること	地域包括ケア推進課	87.4%	増加	-	-					
		早期発見・早期対応することで、症状の軽減や 進行を遅らせる可能性があること	地域包括ケア推進課	78.3%	増加	-	-					
		人として尊厳を守ることが大切であること	地域包括ケア推進課	51.5%	増加	-	-					
		④生活する上で、本人にとって安心できる環境や 関わりが大切であること	地域包括ケア推進課	53.3%	増加	-	-					
		徘徊等の行動には、原因と理由があり、対応や環 境整備が大切であること	地域包括ケア推進課	55.5%	増加	-	-					

高齢者保健福祉計画・第8期川越市介護保険事業計画事業評価シート（指標）

基本理念:豊かな歴史・文化にはくまれながら、一人ひとりにふさわしく、いきいきと充実した生活を送れるまちの実現

基本方針:住み慣れた地域で 健幸で 見守り・支え合うまちの実現をめざします。

所管課評価 評価基準		R3年度
A	順調（年度目標の90%以上）	21
B	やや遅れている（年度目標の60%以上）	3
C	遅れている（年度目標の60%未満）	10
D	当該年度予定なし	0
E	事業終了	0
-	災害等により未実施だったもの	0

資料 2-3
令和4年（2022年）9月26日
第5回川越市介護保険事業計画等審議会

no	第8期計画の施策の柱	項目	担当課	策定時目標		実績値				令和3年度実績に対する		令和4年度 取組内容（予定）	
				現状 （令和元年度）	目標 （令和5年度）	第7期計画 令和2年度	第8期計画			所管課 評価	評価理由		
23	地域支援協力体制の整備	地域包括支援センター体制整備状況 職員1人あたりの高齢者数	地域包括ケア推進課	1,413人	減少	1,408人 (R2.4.1時点)	1,259人 (R3.4.1時点)			A	減少し、目標を達成できているため。	今年度は、地域包括支援センターの増員は予定していない。	
24		避難行動要支援者名簿を備えた自治会の割合	防災危機管理室	32%	50%	36.7%	39.2%			B	制度の周知の結果、おおむね順調に目標を達成できているため。	自治会長・民生委員に対し、会議を通して制度の周知を行う。	
25		福祉避難所設置数	防災危機管理室	27カ所	30カ所	27カ所	29カ所			A	施設等との協議を積極的に行ったことにより、順調に目標を達成できたため。	施設等との協議により、福祉避難所の拡充を推進する。	
26		生活支援コーディネーターが把握した地域資源の数	地域包括ケア推進課	156件	200件	187件	198件			A	生活支援コーディネーターが地域に出向き、社会資源を把握し、順調に目標を達成できたため。	今年度も同様に、地域の関係機関等と情報共有しながら、社会資源の把握に努めるとともに、新たな地域資源の創出に向け、必要に応じ第2層協議体へ働きかけていく。	
27		川越市ときも見守りネットワーク協力事業者数	福祉推進課	197事業者	200事業者	206事業者	209事業者			A	広報や啓発活動を行い、協力事業者数の目標値を達成したため。	協力事業者への各種の福祉情報の提供を行うとともに、新たな事業者の登録に向けた働きかけを行う。	
28		成年後見制度の市長申立て件数	高齢者いきがい課	27件	35件	36件	40件			A	本人及び親族による後見等開始の申立てが難しい人に対して行った市長申立て件数が目標を上回ったため。	成年後見センターなどの連携により、市長申し立てが必要な方に対して迅速に対応を行う。	
29		在宅療養率	介護保険課	計画書 (P.77)参照	増加	-	-						
30		地域包括支援センターの認知度											
		実態調査	地域包括ケア推進課	29.9%	増加	-	-						
		ニーズ調査	地域包括ケア推進課	56.0%	増加	-	-						
31		在宅医療の認知度	地域包括ケア推進課	39.4%	増加	-	-						
32		自宅で最期を迎えることを希望し、実現可能だと思う人の割合	地域包括ケア推進課	16.6%	増加	-	-						

高齢者保健福祉計画・第8期川越市介護保険事業計画事業評価シート（指標）

基本理念:豊かな歴史・文化にはぐくまれながら、一人ひとりにふさわしく、いきいきと充実した生活を送れるまちの実現

基本方針:住み慣れた地域で 健幸で 見守り・支え合うまちの実現をめざします。

所管課評価 評価基準		R3年度
A	順調（年度目標の90%以上）	21
B	やや遅れている（年度目標の60%以上）	3
C	遅れている（年度目標の60%未満）	10
D	当該年度予定なし	0
E	事業終了	0
-	災害等により未実施だったもの	0

資料 2-3

令和4年（2022年）9月26日
第5回川越市介護保険事業計画等審議会

no	第8期計画の施策の柱	項目	担当課	策定時目標		実績値				令和3年度実績に対する		令和4年度 取組内容（予定）
				現状 （令和元年度）	目標 （令和5年度）	第7期計画 令和2年度	第8期計画			所管課 評価	評価理由	
33	介護サービス・日常生活を支援するサービスの充実	介護サービスの基盤整備数	介護保険課	—	17	—	1			A	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を1箇所整備したため。	整備事業者の公募・選定を行う。
34		介護サービス事業者へのヒアリング実施回数	介護保険課	1回	増加	—	2回			A	令和3年12月に介護保険施設等状況調査の実施、小規模多機能型居宅介護事業所の情報交換会へ参加したため。	新型コロナウイルス感染症拡大に配慮しながら、ヒアリングや、web等による調査を実施する。
35		緊急通報システムの取付総数	高齢者いきがい課	431件	450件	425件	430件			A	登録件数が目標を達成したため。	引き続き、ホームページ等により事業周知を行う。
36		在宅療養率	介護保険課	計画書 (P.77)参照	増加	—	—					

高齢者保健福祉計画・第8期川越市介護保険事業計画事業評価シート（指標）

基本理念:豊かな歴史・文化にはくまれながら、一人ひとりにふさわしく、いきいきと充実した生活を送れるまちの実現

基本方針:住み慣れた地域で 健康で 見守り・支え合うまちの実現をめざします。

所管課評価 評価基準		R3年度
A	順調（年度目標の90%以上）	21
B	やや遅れている（年度目標の60%以上）	3
C	遅れている（年度目標の60%未満）	10
D	当該年度予定なし	0
E	事業終了	0
-	災害等により未実施だったもの	0

資料 2-3
令和4年（2022年）9月26日
第5回川越市介護保険事業計画等審議会

no	第8期計画の施策の柱	項目	担当課	策定時目標		実績値				令和3年度実績に対する		令和4年度 取組内容（予定）
				現状 （令和元年度）	目標 （令和5年度）	第7期計画 令和2年度	第8期計画 令和3年度 令和4年度 令和5年度			所管課 評価	評価理由	
37		介護サービス事業者への指導監査										
		集団指導回数	指導監査課	1回	1回	1回	1回			A	例年実施していた集合形式ではなく、webを利用した集団指導を実施できたため。	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた上で、講習、web等の手法で実施する。
		参加事業者数	指導監査課	194事業者	200事業者	-	423事業者			A	webを利用した集団指導により、集合形式よりも多くの事業者に対し、集団指導を実施することができたため。	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた上で、講習、web等の手法で実施する。
		実地指導実施率	指導監査課	94%	100%	89%	87%			B	新型コロナウイルス感染症により、実地指導の延期や中止等があり、予定件数を下回ってしまったため。	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた上で、書面での監査も活用しながら実施する。
38	持続可能な介護保険制度の運営	介護給付の適正化主要5事業の取組										
		《要介護認定の適正化》 認定調査票の点検の割合	介護保険課	100%	100%	100%	100%			A	調査票内容点検を全件実施したため。	調査票内容点検を、全件継続して実施する。
		《ケアマネジメントの適正化》 ケアプランの点検の割合	介護保険課	100%	100%	50%	100%			A	市内全居宅介護支援事業所のうち、35事業所を対象に、ケアプラン点検を実施したため。	市内全居宅介護支援事業所のうち、36事業所を対象に、ケアプラン点検を実施。 R4年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた上で、書面での開催とする。
		《ケアマネジメントの適正化》 住宅改修等の点検の割合	介護保険課	0%	100%	0%	100%			A	住宅改修の現地確認を1件実施したため。	必要に応じて現地確認等の点検を実施する。
		④《サービス提供体制及び介護報酬請求の適正化》 縦覧点検・医療情報との突合の割合	介護保険課	45%	100%	40%	100%			A	全件点検を実施し、是正が必要と思われる事業所へ連絡を行った。	全件点検を継続して実施する。
		《サービス提供体制及び介護報酬請求の適正化》 介護給付費通知の割合（対象月）	介護保険課	100%	100%	100%	100%			A	サービス利用者に対し、給付費通知の発送を行ったため。	例年通り実施する。
39		介護保険サービスの実利用率	介護保険課	78.4%	増加	74.7% （基準月： R2.9）	73.9% （基準月： R3.9）			A	昨年度とおおむね同程度の実利用率となったため。	申請により適正な給付を実施する。
40		《ケアプランの点検》 ケアプラン確認指導データ改善の意識付けができた項目の割合	介護保険課	93.9%	増加	93.9%	100%			A	市内全居宅介護支援事業所のうち、35事業所を対象に、ケアプラン点検を実施したところ、ケアプラン確認指導データ改善の意識付けができたところが全件であったため。	市内全居宅介護支援事業所のうち、36事業所を対象に、ケアプラン点検を実施する。
41		《縦覧点検・医療情報の突合》 適切な請求の実現に向けた請求是正件数	介護保険課	4,060件	5,500件	5,188件	5,345件			A	請求データ等を活用し、適切な請求が行われているか確認を行ったため。	事業所からの相談があれば適切に指導する。